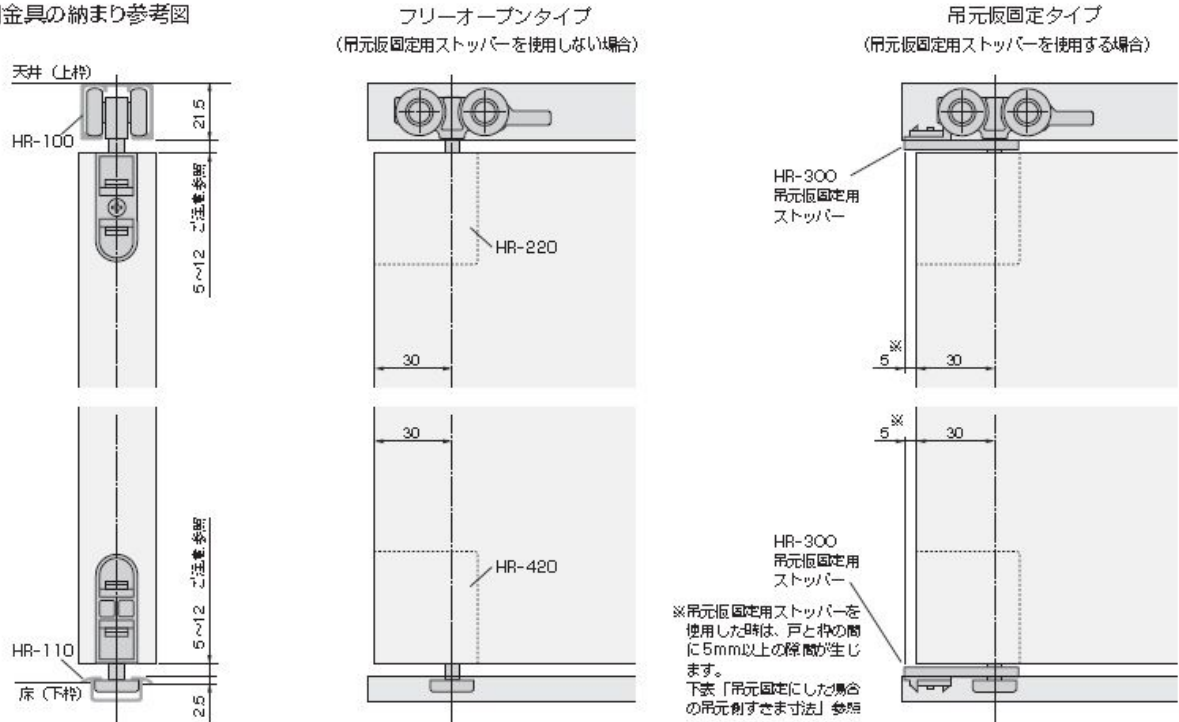
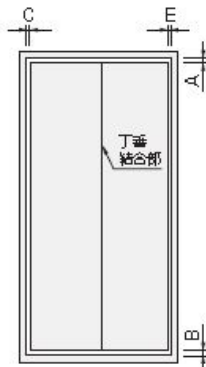


設計ガイド

■金具の納まり参考図



■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま(レールと戸の間のすきま)

- A=上レールと戸とのすきま寸法=5~12
- B=下レールと戸とのすきま寸法=5~12

●左右のすきま(折戸1組の場合)

C+E(フリーオープンタイプで吊元固定ストッパーを使用しない場合)

使用丁番: HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	4.8	4.3	3.9	3.6
33	5.5	4.9	4.4	4.0
35	6.0	5.3	4.9	4.4
40	7.4	6.5	5.8	5.3

※以上の左右すきまは「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。
※丁番結合部のすきまは0mmの認定で大丈夫です。

C+E(吊元固定の場合)

使用丁番: HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	7.5	7.1	6.8	6.6
33	7.9	7.5	7.1	6.9
35	8.2	7.7	7.4	7.1
40	10.1	9.5	9.1	8.8

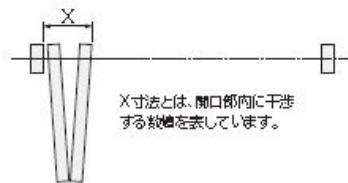
CまたはEを吊元固定にした場合の吊元側すきま寸法

戸厚	0径たけ組
30	5.0
33	5.0
35	5.0
40	6.1

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どちらを定めた寸法(=10mm)、あるいは最大値どちらを定めた寸法(=24mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法10mm<上下のすきま<24mm
すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法



- フリーオープンタイプで吊元固定ストッパーを使用しない場合のX=戸厚+10.7mm
- 吊元板固定ストッパーを使用する場合

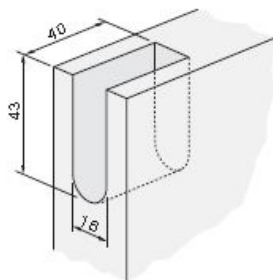
戸厚30~33mmの場合のX= $\frac{\text{戸厚}}{2} + 12.0\text{mm}$

戸厚34~40mmの場合のX= $\frac{\text{戸厚}}{2} + 11.0\text{mm} + \text{吊元側すきま寸法}$

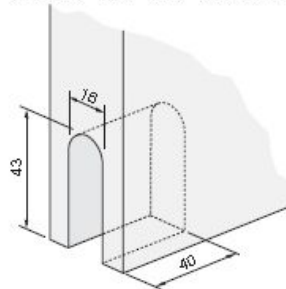
※上記計算式は「使用丁番HD-37」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

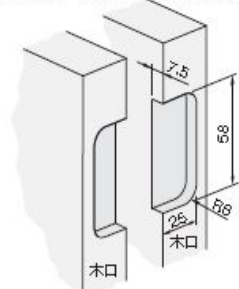
上部吊り車 (HR-220) の取付け加工寸法



下部ガイド (HR-420) の取付け加工寸法



丁番 (HD-37) の取付け加工寸法

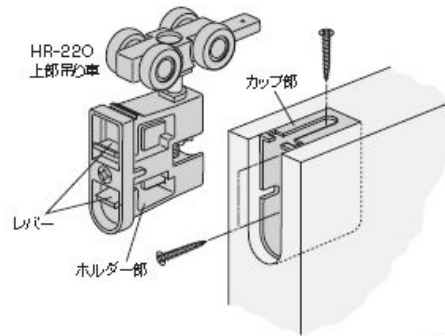


施工ガイド

■金具の取付け方法

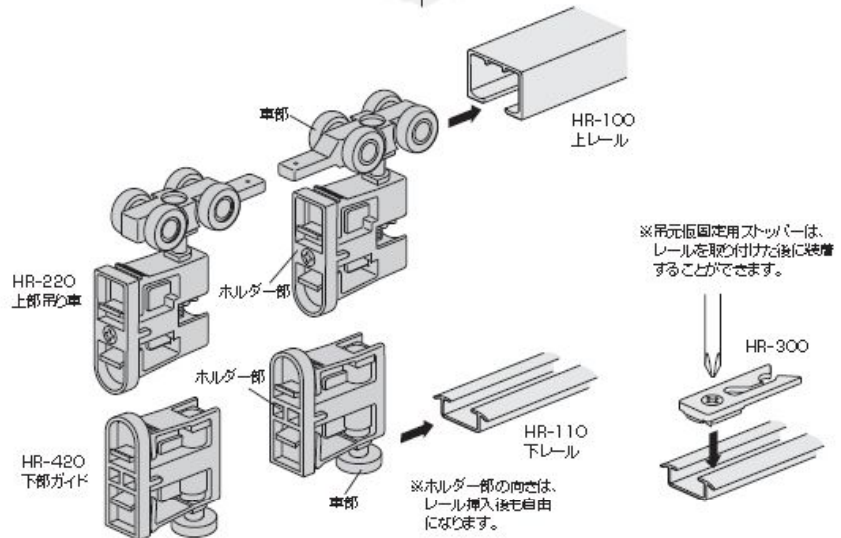
戸に付ける金具の取付け

- 丁番は戸の木口加工部に取付けます。
- 上部吊り車及び下部ガイドは、まず図に示すように戸に取り付ける前にホルダー部のレバーをつまんで引き出し、カップ部より分離します。
- 次にカップ部のみ所定の戸の木口加工部に取付けてください。



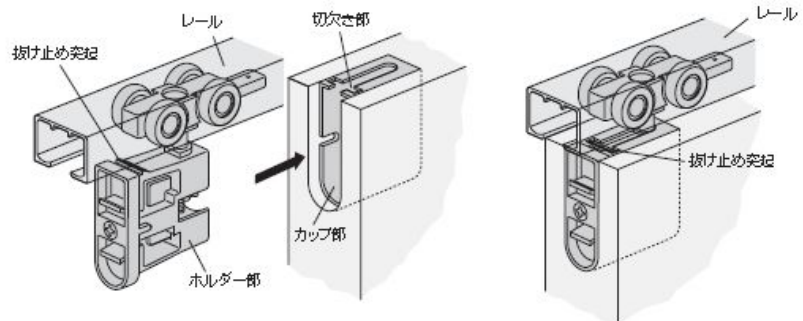
レールの取付け

- レールを取り付ける前に、図に示す方向で、上部吊り車及び下部ガイドの車部をレール内に挿入します。
- それから上下枠にレールを取り付けてください。
- 吊元板固定用ストッパーを使用する場合は、最終に、上下レールに装着してください。



■戸の吊込み

- (戸に取り付けた上部吊り車及び下部ガイドの) カップ部分に、(レールに挿入してある) ホルダー部を差し込みます。ホルダー部の抜け止め突起がカップの切欠き部にしっかり嵌った時、パチンという音がしますので、必ずご確認ください。



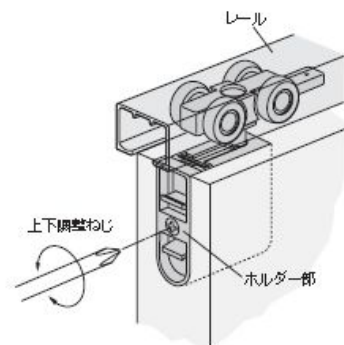
■戸の位置調整

戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたり、傾いたりしている場合

→ 上部吊り車(HR-220)で、上下調整してください

● 調整は戸を吊ったままの状態で行えます。

● ホルダー部の上下調整ねじを回せば戸の上下調整ができます。



開時に、戸が図①のように蛇行している場合

→ 丁番(HD-37)で、蛇行修正をしてください

● 図②のように丁番に付いている調整ねじを回せばできます。

● 調整操作は戸を開けた状態で行います。

